



写真展作品募集!

テーマは「わたしの好きな大泉町」



オープンハウスで開催する写真展は、地域の皆様に、写真を通じて大泉町の良いところ・未来に伝えていきたい風景を再発見していただくことを目的としています。

募集対象 大泉町で撮影した「まちの景観」「自然」「人々の様子」など、まちの魅力を伝える写真

参加方法 下記いずれかの方法で、写真データをお送りください。※下記注意事項をお読みください。

LoGoフォーム 右の二次元コードを読み込み、必要事項を入力の上、写真データをアップロードして送信してください。

送信可能なデータサイズ:1作品10MBまで(複数作品の送信可能)



▲LoGoフォーム

Eメール メールの特名・本文に以下の内容を明記し、写真データを添付の上、ENSHIN@city.nerima.tokyo.jpへ送信してください。



▲Eメール

件名:大泉町写真展参加

本文:展示の際、写真と一緒に表示する内容を記入してください。

✓お名前(お名前の公表を希望されない方はニックネーム等を記入)

✓写真のタイトル、撮影場所、撮影時期(●年●月頃など)

送信可能なデータサイズ:メール1通につき添付データ合計10MBまで

募集締切 2026年3月6日(金)まで

大泉町で撮影した写真をお持ちの方は、ぜひご参加ください!

※写真展参加に際しての注意事項

- ・お送りいただく写真は、お一人につき3点程度としてください。
- ・展示の際の写真の大きさ等は、事務局にて調整させていただきます。また、大泉町以外で撮影されているなどテーマにそぐわないものや展示スペースの都合により、全ての写真を展示できない可能性があります。
- ・写真は、カラー・モノクロを問わず、スマホで撮影したもので構いません。
- ・デジタルによる合成など、作品の加工・創作はお控えください。
- ・写真の著作権は撮影者に帰属します。ただし、写真のご提供をもって、3月のオープンハウスにおける無償での使用を区に許諾するものとします。また、今後「まちづくり基本構想」などへの掲載を相談させていただきます可能性がります。
- ・被写体個人が特定できる写真の場合は、必ず本人の承諾を得てください。使用された人物等からの肖像権等の申し出があった場合の責任は、撮影者に帰属するものとします。
- ・電子データの送付が難しい場合は、オープンハウス当日(3/15または16)に写真をご持参いただくことも可能です。(その場でコピーを取り、展示させていただきます。)

「まちづくりだより」の内容に関して、ご意見・ご質問のある方は下記お問い合わせ先まで、ご連絡ください。また、この「まちづくりだより」は地区内に土地・建物を所有されている方にもお送りしています。所有状況に変更があった場合は、お手数ですがお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

練馬区 都市整備部 大江戸線延伸推進課
本庁舎16階 4番窓口

TEL : 03-5984-1584 (直通)

FAX : 03-5984-1226

Eメール: ENSHIN@city.nerima.tokyo.jp

延伸の概要はこちら



延伸地域のまちづくりはこちら



(仮称)大泉町駅予定地周辺地区

まちづくりだより

Vol. 04

令和8年2月発行

発行:練馬区 都市整備部 大江戸線延伸推進課

お知らせ



本地区では、令和7年8月にまちづくり協議会が発足し、大江戸線延伸後のまちづくりについて検討を進めています。このたび、地域の皆様にこれまでの活動内容をお伝えするとともに広くご意見を伺うため、オープンハウスを開催します。ぜひご来場ください!

2026年

3月15日(日) 10:00~14:00

3月16日(月) 17:00~20:30

会場:大泉第一小学校
会議室/ランチルーム

予約不要・入場無料



ご来場はこちらから!
※お車でのご来場はご遠慮ください。

開催内容(予定)

パネル展	ミニワークショップ	写真展
-------------	------------------	------------

主な内容

- 大江戸線の延伸計画
- まちづくり協議会の活動
- 基本構想(骨子案)の内容 等

主な内容

- 大泉町の「好きなところマップ」をつくろう
- 将来の大泉町の「イメージイラスト」をつくろう

地域の皆様が撮影した写真を展示



展示のイメージ



マップ作成のイメージ

写真展に展示する作品を募集します!
⇒詳細はP.3へ

今後の流れ

引き続き、地域の皆様からのご意見を伺いながら、「まちづくり基本構想」の検討を進めていきます。



開催報告

第3回まちづくり協議会を開催しました。内容はP.2をご覧ください。



令和8年1月16日（金）の第3回協議会では、新駅周辺の使い方（テーマ1）や、まちづくり基本構想（骨子案）の内容（テーマ2）について意見交換を行いました。

<テーマ1 新駅周辺の使い方について>

新駅周辺のまちづくりの方向性を検討していくにあたり、まずは、新駅周辺で「どのような活動をしたいか」を話し合いました。

意見交換のテーマ

- ✓ 新駅開業後に「駅前広場やその周辺でしたいこと」を考える。

■新駅周辺で想定されるアクティビティ（活動）の分類

- 出かける・訪れる
- 休む・くつろぐ
- 遊ぶ・楽しむ
- イベント

■主なご意見

新駅の近く（駅前広場以外）

✓ アクティビティ（活動）のイメージ

- 公共交通や地域の情報を入手する
- 買物、飲食（夜はお酒も）を楽しむ
- 空き家を活用する（店舗など）
- 講座や習い事を楽しむ
- 野外シネマ
- 子ども向けイベント
- マルシェ・ファーマーズマーケット
- まち全体を使ったイベント

✓ 空間のイメージ

安全安心な駅近の活動場所 人が集まる場所

もみじやま公園・確保地

✓ アクティビティ（活動）のイメージ

- ベンチで休憩、待ち合わせ、飲食する
- 芝生でリラックス
- ウォーキング、ペットと散歩コース
- 自由に使える椅子やテーブルを設ける
- 防災ベンチを設ける
- 水遊び、ボール遊び、ランニング等をする
- アートで空間を飾る
- 野菜や花を購入する（簡易店舗、直売所）
- マルシェ・ファーマーズマーケット
- バーベキューイベント
- 防災体験

✓ 空間のイメージ

来訪の目的地になるような空間 自然と触れ合い遊べる場所

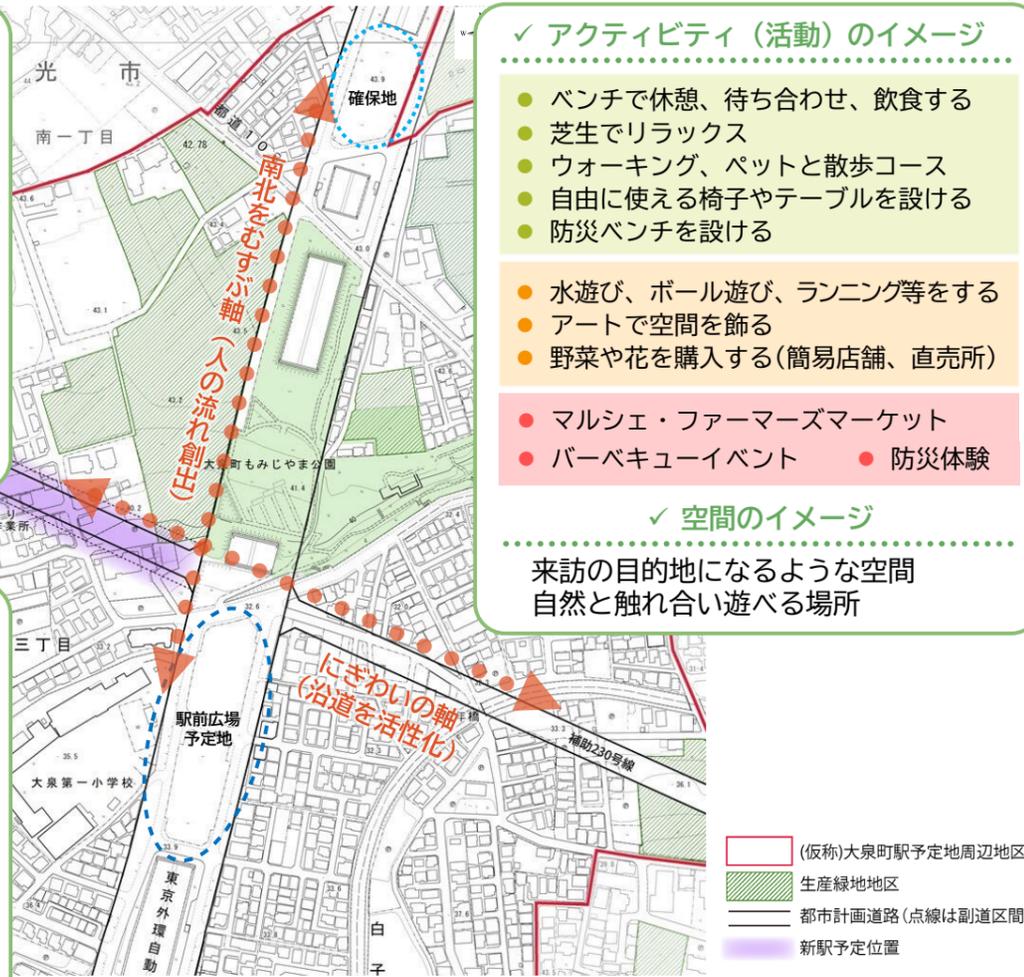
駅前広場

✓ アクティビティ（活動）のイメージ

- バス・タクシー・シェアモビリティを利用する
- 宅配ロッカーなどを利用する
- 駐輪場・駐車場を利用する
- 公共交通や地域の情報を入手する
- ベンチで休憩、待ち合わせ、おしゃべり
- 駅前を緑化する、日陰で涼む
- ランニングやアークスポーツをする
- キッチンカーでドリンクや食べ物を買う
- 子ども向けイベント
- フリマ・マルシェ
- イルミネーションなど

✓ 空間のイメージ

地域の活動の場 楽しめる広い空間
地域の玄関口 交通ハブ



上記のアクティビティ（活動）の内容は将来のまちのイメージを膨らませるための例であり、実施が決定しているものではありません。今後、いただいたご意見を踏まえて、必要性や実現性等の観点も含めながら、新駅周辺のまちづくりの方向性を検討していきます。

<テーマ2 まちづくり基本構想（骨子案）について>

「まちづくり基本構想」の策定に向け、今年度は「骨子案」（基本構想の大まかな案）の内容を検討しています。意見交換では、骨子案の主な内容について話し合いを行いました。

意見交換のテーマ

- ✓ まちづくり基本構想（骨子案）の内容を確認し、足りない・追加したい要素について考える。

■まちづくりのテーマについて

まちづくり基本構想では、地区の現況やまちづくり協議会でのご意見等を踏まえて、4つのまちづくりのテーマを設定しています。

■主なご意見

まちづくりのテーマ	「取組みのポイント」と「方針」に対する主なご意見
① にぎわい	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模な集客のみを目的とせず、地域特性の活用や、現在の住環境の維持といった観点を大切にしていきたい。 ● にぎわい創出の方向性に沿った軸・エリアの設定や、それぞれにおける具体的な取組みの検討が必要だと思う。
② 道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 区内道路ネットワークは、消防車・救急車など緊急車両の通行確保といった防災性向上の観点も踏まえるべきだと思う。 ● 歩行者が安全に移動できる空間づくりが必要だと思う。 ● 自動運転など今後の社会変化を見据えた空間づくりが必要だと思う。
③ みどり・景観	<ul style="list-style-type: none"> ● 農地等のみどりは、保全していくべきだと思う。 ● 地域で愛着を持って利用できるみどりを増やしたい。 ● 地域の一体的な景観形成の観点も踏まえるべきだと思う。
④ 暮らし・安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路・交通と同様、緊急車両の通行確保といった防災性向上の観点も踏まえるべきだと思う。 ● 災害の危険性や防災活動の重要性を伝える体験や、担い手の育成など、地域における防災・防犯の取組み促進が必要だと思う。

「まちづくり基本構想（骨子案）」は、上記のご意見や、オープンハウス（3月開催）でのご意見等を踏まえて、今年度末までにとりまとめていきます。とりまとめた内容については、次回の「まちづくりだより」にてお知らせする予定です。